

海外派遣留学プログラム報告書

2019.03.01-2019.03.31



先月から Linköping のダウンタウンに道場がある地元のクラブチームに所属して週に何回か練習しています。今月の中旬にスウェーデンの首都ストックホルムでスカンジナビア大会がありました。スウェーデンのほかにフィンランド、デンマーク、アイスランドなどからの参加者もいて、私が想像していたよりもヨーロッパの空手競技人口は多いんだなと感じました。特に一般女子の部門はレベルが高くて驚きました。今回の大会はパフォーマンスの形だけを競うものだったので、相手が見れなかったのが残念ですが、先生はヨーロッパは形に比べて相手の方が高いレベルだと言っていたのでまた次回機会があれば他の大会にも行ってみたいと思いました。大会参加の手続きが複雑で今回私は出場することができませんでしたが、チームのコーチとして参加して直前まで指導をしました。試合前に緊張した様子の子供達を見ていると、私も小さいころ試合直前は同じような気持ちでいたことを思い出しました。そして同時に、あのとき近くにいた大人からは私もこういう風に

見えていたのかな、そしてあの大人たちはこんな気持ちでいてくれたのかなと考えて、面白いな不思議だなと思いました。写真に写ってる女の子は私を見つけるといつも私の名前を呼んで、ハグをしてくれます。とってもかわいい。

私の最初の空手の先生が空手競技は頭のいい人が勝てると言っていました。今になってようやくこの言葉を理解することができます。例えば、この女の子は彼女の年代の中で道場一上手いと思います。そして同じく道場一、理解するスピードや深さ、自分のものにする力を持ってると思います。たとえ私が身振りだけで説明したとしても彼女は汲み取って理解しようとします。指導者側の立場に立って初めて知ることがたくさんあったので良い経験ができたと思います。

今月は試験が多い月でした。スウェーデン語のコースではアサイメントがいくつか出されました。ライティングは出されたテーマについてスウェーデン語でエッセイを書いてチューデントポータルから提出します。スピーキングのアサイメントは指定のテーマについて自分で内容を考えて、音声を録音しファイルをポータルにアップロードします。結果は後日先生からメールで送られてきます。

また、Nordic Culture のクラスでは二回目のグループプレゼンテーションをしました。しっかり下調べをしてグループで何回か集まって全員で確認しながらパワポ作成。海外では学校でグループプレゼンテーションがよく課されるらしく、みんな慣れた様子でどんどん進めていってくれたのでとても助かりました。日本の高校や大学でももっとグループワークを増やしてもいいと思います。誰かと一緒にプロジェクトを行うスキルというのは練習しないと身につかないし、頭の良さだけでどうにかなるものではないからです。



私のグループの中に私が尊敬する人がいます。その人は周りに“この人がリーダーをやらなくて誰がやるのだろう”と思わせることが出来るくらい絶対的存在感があって、みんなから愛されています。いつもステキな人だと思わせる人です。彼女にリーダーを上手く務めるコツを聞くと、彼女はoverpowering だと言いました。意外な答えです。私はてっきり周りをよく見てみんなの意見を取り入れるようにするよ的なこ

とを言ってくれるのかと思っていたら、彼女の口からは人を圧倒させ抵抗させないことが一番大事だと。確かにそういうタイプのリーダーもいるだろうけど、彼女は違うタイプなのでこの言葉に少し驚きました。でも彼女が言うには、リーダーがメンバーからの不満をいちいち気にしていたらチームがダメになるから、言われても無視して進み続ける力、そもそもなにも言わせないほどの威圧感を持たないとチームは成功しない。小さいころからいつもリーダー役をしていた彼女は自分の経験からそう学んだそうです。彼女から教えてもらったことは大切に覚えておこうと思いました。

上の写真は先月書いたスウェーデンの先住民族サーミ人の民族旗です。グループプレゼンテーションで私が担当したパートはサーミ人のアイデンティティについてでした。知れば知るほど面白い民族なので暇な時間があればググってみてください。

おまけ：アイスクリームが食べたくなくてダウンタウンのアイス屋さんに行きましたが、冬の間は寒すぎて売れないので暖かくなるまで開店しないようです。残念。

